

五小 コミュニティ・スクールだより2

令和7年12月18日

第2回学校運営協議会11月10日

熟議テーマ:「10年後の五小の姿を見通して、
現在行うべきこと」 ※以下出された意見です。

- ・児童数が減少することで PTA の会員数が減少するので PTA 活動の運営が困難になってくる。
PTA は任意の団体ということで、PTA をなくしている学校もある。
 - ・行事の運営はボランティアを募集することで実施していく。
 - ・PTA 行事や学校行事は有償ボランティアを募集して行う。
 - ・学校行事を学校だけで運営するのではなく地域全体で運営するような形にしていく。
- <職員の負担軽減を図る>
- ・小中一貫校にすることで問題解決を図る。



【熟議の話し合いの様子】

<空き校舎・教室の活用をはかる>

- ・空いた校舎や教室を学童保育や老人ホームの施設として活用する。
- ・9年間の義務教育を、最初の五年間を美園小の校舎で、後の4年間を五小の校舎を使って授業を行う。
- ・統合する場合には新しい校舎を作る。

<公民館>

- ・学校の統廃合に伴って公民館の行政区の見直しを行う。
- ・学校の改編により地区の歴史の継承ができなくなってしまう可能性がある。

<通学の問題>

- ・スクールバスを導入する。

<市町合併の推進>

- ・市内だけで児童を奪い合うのではなく、転入人口を増やすような政策をとっていく。
- ・板倉や明和など近隣の学校との交流を図っていく。
- ・学区の再編を実施する場合には、館林、明和、板倉の合併を進めることが必要となってくる。

<同意形成の問題>

・対等に学校を統合する場合には、体育着をどうするか、上履きをどうするかなど細かな問題まで合意が必要になる。ていねいな話し合いが必要となる。



【出された意見の発表の様子】

・それぞれの学校の卒業生は誇りを持っているので、合併の場合にはていねいな説明が不可欠である。

<2学期の主なCS活動の様子>

【田んぼアートの撮影】



9月、赤羽地区の区長さん等にお世話になり、5年児童が田植えをした「田んぼアート」が完成し、全校児童と地域の方も入って田んぼアートの撮影をしました。

【運動会玉入れ】



10月18日の運動会では、今年も地域の方や保護者の方が参加する「玉入れ」が行われました。地域住民が交流しながら、よい汗を流すことができました。

【稲刈り】



10月、地域の米農家の方が指導をしてくださり、5年生全員が五小裏の田んぼで自分たちが植えた稲の刈り取りをしました。

【ヘルスパレーボール】



12月、赤羽スポーツ協会の方にお世話になり、体育館運動クラブの児童が、ヘルスパレーボール（ラグビー型の大きなボールを使用）を体験することができました。